



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年6月1日

ベトナム海外直接投資 (FDI) 1-5月

新規・追加投資認可額は増加

ベトナム計画投資省 (FIA) が発表した1-5月 (5/20までの数字) の海外直接投資 (FDI) と外資の出資・株式取得の合計は約138.9億ドル (前年同期比-17%; 約1.5兆円) だった。

昨年大型の出資・株式取得があった反動で、出資・株式取得額は前年同期比17%減 (約29.9億ドル) となったが、インフラ整備・工場設立等に直接かかわる新規投資 (同+15%; 約74.4億ドル)、追加投資 (同+31%; 約34.5億ドル) はいずれも2桁以上の伸び。

FDI認可額 (百万ドル)

		2020年1~5月	前年同期比
1	シンガポール	5,305	154.3%
2	タイ	1,453	212.3%
3	中国	1,266	-37.3%
4	日本	1,265	-16.9%
5	韓国	1,222	-53.4%
6	台湾	1,191	107.1%
7	香港	642	-87.4%

出所: FIA

国・地域別では、大型発電案件が認められたシンガポールが1位 (約53億ドル)、タイが2位 (約14.5億ドル) となった。3位中国 (約12.7億ドル) をはさみ日本は4位 (約12.7億ドル)。

タイは、新規案件数は少ないが、既存案件の追加投資を13.9億ドル行ったことにより2位に躍進した。地理的に近く、文化的にも類似しているタイからの FDI はこれからも増加すると予想される。

業種別では1位「加工・製造」(約68.8億ドル)、2位「電力・ガス・水道」(約39.2億ドル)。ベトナムは今後、分野を絞った FDI 誘致が望まれており、特に技術・資本が不足するハイテク農業・再生可能エネルギー等の分野への誘致が必要とされている。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上